

どんぐい村の こみ・すく通信

令和7年12月10日発行 令和7年度 第17号

更別村コミュニティスクール委員会事務局(教育委員会)

みんなの学校応援団の活動を紹介(その12)

どんちゃんLC会から 中央中学校へプレゼント

10月21

日(火)に、
学校応援団
であるどん
ちゃんLC
会の神成哲
也会長と山

角幸一郎副会長が、更別中央中学校を訪問し、生徒の学校生活を応援するために、「ベルトサンダー」と「アイロン4台」を贈呈してくださいました。当日は、生徒会代表4名が受け取り、お二人に感謝の言葉を伝えました。☆どんちゃんLC会からは、小中学校の3校を対象に、1年に1校ずつのご支援をいただいている。



更中3年「村長から自治を学ぶ」

10月30日(木)には、更別中央中学校3年生の総合的な学習の時間で、西山猛・更別村村長の、更別村の自治に関する講話がありました。村長は、中学生の将来への思いをくみ取りながら、更別村の現在の状況や将来構想を話されました。生徒は、「人と人とのつながりが大事」「今やらないと間に合わない」等、村長自らの言葉に大いに関心を抱いていたようでした。

3年生では、今後、更別村議会を訪問し、生徒たちの意見や要望を提出する予定になっています。



小小連携で、「茶道体験」

「小小連携」として、更別小学校と上更別小学校5年生が合同で、11月13日(木)に、改善センター和室で「茶道」を体験しました。今年も、村の茶道サークルの指導のもと、まずは、全員で掛け軸と生け花について学びました。その後、2つのグループに分かれ、茶道での「お茶の点て方」と「お茶の飲み方・和菓子の食べ方」を交互に体験しました。

子どもたちは、非日常的な茶道での所作に戸惑いながらも、日本古来の伝統文化に興味を示し、終始楽しむことができました。終了後に、和室を出たある子が開口一番



「楽しかった!」という言葉を発したことは、このことを物語っていると思いました。茶道サークルの皆さんからは、子どもたちへのメッセージをいただくこともできました。改善センターのロビーにも掲示しています。ご覧ください。

小小連携で、「消防署見学」

1月18日(火)、更別小学校と上更別小学校3年生が合同で、更別消防署を見学しました。消防署では、署員の方々から救急車等の説明を聞く等、たくさんの貴重な体験をさせてもらいました。その説明や体験は、消防署事務所の見学、救急車内部の見学、防火服の装着体験、消防車からの放水体験といった、4グループに分かれてのものでした。



救急車内部の見学



放水体験